

ワスレナグモ

岡山県：情報不足

クモ目

Calommata signata Karsch

環境省：準絶滅危惧

ジグモ科

選定理由

岡山県における既往記録は少ない。人里近い畑地や草地等の地中に生息するため、開発により生息環境は減少傾向にあると考えられる。

存続を脅かす要因

土地造成（都市化、農地造成）

分布状況

本州、四国、九州に分布する。
岡山県では岡山市と倉敷市で記録がある。

生息情報

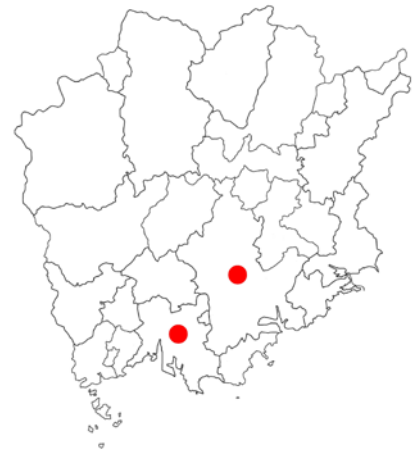
体長は雌で約 20mm、雄で約 7mm。雌では頭胸部は黄褐色、腹部は黒褐色、雄では頭胸部、腹部ともに黒褐色である。畑や草地などの比較的乾燥した所に生息し、地中に 15～20cm の縦穴を掘って生活する。トタテグモ類と異なり出口に扉はない。地面に張った触糸で穴に近づく獲物を感知し、穴から飛び出して捕らえる。

文献番号 29

(野嶋宏一)



撮影：鶴崎 展巨



キノボリトタテグモ

岡山県：情報不足

クモ目

Conothele fragaria (Dönitz)

環境省：準絶滅危惧

トタテグモ科

選定理由

岡山県における既往記録は少ない。比較的人里近い森林やその周辺に生息するため、開発により生息環境は減少傾向にあると考えられる。

存続を脅かす要因

森林伐採

分布状況

本州、四国、九州、南西諸島に分布する。
岡山県では岡山市及び倉敷市で記録がある。

生息情報

体長は雌が約 10mm、雄が約 7mm。体色は黒紫色。眼は頭胸部の前方中央部に 8 眼が固まって配置される。道路脇の崖地や樹木の樹皮などに、窪みを利用して長さ約 3cm の円筒形の住居を作る。住居は周辺と似た色のため見つけにくい。ワスレナグモと異なり出口に片開きの扉が付いている。獲物が扉近くを通ると素早く扉を開いて飛び出し、獲物を穴に引きずり込む。

文献番号 29

(野嶋宏一)



撮影：鶴崎 展巨

